

群馬大学 理工学府・生体調節研究所

第23回 生命科学セミナー

共催

群馬大学ファイブバイオプロセス研究会
群馬大学理工学府「化学生物学プロジェクト」
「内分泌・代謝学」共同利用・共同研究拠点
特別運営費交付金「生活習慣病の病態解明と分子標的探索」

平成28年7月27日(水)
昭和キャンパス刀城会館

15:00～15:40 藤谷 与士夫先生

群馬大学 生体調節研究所 分子糖代謝制御分野 教授

「糖尿病における膵β細胞の運命とその制御」

糖尿病はインスリン産生に関わるβ細胞の機能低下が原因となる。我々のマウスを用いた遺伝学的解析により、糖尿病では膵β細胞が、本来の分化成熟の過程を逆戻りすることにより、成熟した細胞機能を失うことが明らかとなった。このβ細胞の「脱分化」のメカニズムを明らかにできれば、新たな糖尿病治療につながる可能性がある。

15:40～16:20 井上 裕介先生

群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門 准教授

「核内受容体HNF4αによる肝臓の転写制御ネットワーク」

肝臓は多種多様の代謝を司る臓器であり、数種類の転写因子が協同的に肝臓特異的遺伝子の発現を制御している。このうち、核内受容体HNF4αは肝臓の転写制御ネットワークの上流に位置し、多くの遺伝子の発現を制御している。本セミナーでは、KOマウスを用いて明らかになってきた新規のHNF4αネットワークと今後の展開について紹介する。

16:20～16:30 休憩

16:30～17:10 林(高木) 朗子先生

群馬大学 生体調節研究所 脳病態制御分野 教授

「シナプスにおける疾患関連シグナルの解明と創薬への展開」

統合失調症をはじめとする様々な精神疾患に、シナプスの関与が強く示唆されている。そこでシナプスにおける疾患関連シグナルを可視化・操作する我々の試みや、微小循環脳デバイスを用いたトランスレーショナル研究について紹介する。

セミナー終了後、情報交換会があります。こちらにも是非ご参加ください。

会費：2,500円(大学院生・学部学生は1,500円) 担当：生調：畑田(hatada@gunma-u.ac.jp)

理工：行木(nameki@gunma-u.ac.jp)